

製品名: PD2R ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15875**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	40kDa

抗原情報

遺伝子名	PTGDR
別名	PTGDR; Prostaglandin D2 receptor; PGD receptor; PGD2 receptor; Prostanoid DP receptor
遺伝子 ID	5729.0
SwissProt ID	Q13258
免疫原	抗血清はヒト PTGDR 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 263-312

背景

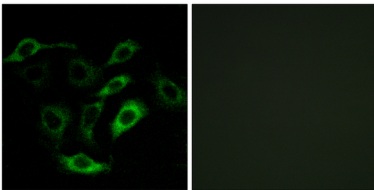
この遺伝子は、グアニンヌクレオチド結合タンパク質 (G タンパク質) 共役受容体 (GPCR) スーパーファミリーのメンバーをコードしています。これらの受容体は 7 回膜貫通型のタンパク質で、細胞外シグナルにตอบสนองして細胞内シグナル伝達経路を活性化します。

このタンパク質は、喘息におけるアレルギー性炎症およびアレルギー性気道炎症のメディエーターであるプロスタグランジン D2 の受容体であることが報告されています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生成されます。[RefSeq 提供、2013 年 7 月]、疾患: PTGDR の遺伝的変異は、喘息関連形質 1 型 (ASRT1) の感受性と関連している [MIM:607277]。喘息関連形質には、咳、喘鳴、呼吸困難などの喘息の臨床症状が含まれます。、機能: プロスタグランジン D2 (PGD2) の受容体。この受容体の活性は主に G(s)タンパク質によって媒介され、アデニル酸シクラーゼを刺激して細胞内 cAMP 濃度を上昇させます。カルシウムの動員も観察されますが、イノシトール 1,4,5-トリスリン酸の形成は伴いません。、類似性: G タンパク質共役受容体 1 ファミリーに属します。、組織特異性: 網膜脈絡膜、毛様体上皮、縦走毛様体筋および輪状毛様体筋、虹彩、小腸、血小板膜に発現します。、

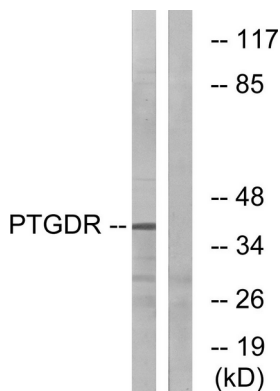
研究分野

神経活性リガンド-受容体相互作用;

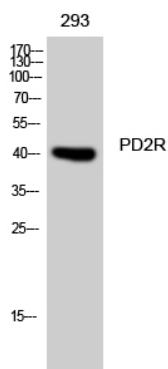
画像データ



PTGDR 抗体を用いた A549 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



PTGDR 抗体を用いた HepG2 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈した PD2R ポリクローナル抗体を用いた 293 細胞のウェスタンブロット解析